

國學院大學久我山中学高等学校

新入生のための栞

令和6年度入学生

校長・副校長・教頭・男女部長・ 名誉校長紹介 母校の歴史をたどる	2
子孫の道はここにあり 國學院大學紹介	3
新入生担当者紹介	4・5
中学新入生の学習について	6
高校新入生の学習について	7
「主体的な学び」をめざして	8

さあともにもに学ぼう

校長・副校長・教頭・男女部長紹介

校長
國清 英明

昭和54年、数学科教諭として奉職。学科主任、将来構想推進委員会委員長、入試対策部長、学習システム部長、教務部長、副校長を歴任。平成31年度、第11代校長に就任。令和5年度、國學院大學法人理事。

副校長
高橋 秀明

昭和60年、地歴公民科教諭として奉職。学科主任、学年主任、課程主任、入試対策部長、女子部長、教頭を歴任。平成31年度、副校長に就任。

教頭
笠井 誠司

昭和59年、国語科教諭として奉職。学科主任、学年主任、課程主任、入試対策部副部長、生活指導部長等を歴任。令和5年度、教頭に就任。

教頭
三戸 治彦

昭和62年、数学科教諭として奉職。進路指導部主任、入試対策部主任、学年主任、課程主任、学科主任、等々を歴任。令和5年度、教頭に就任。

男子部長
横山 聡

平成17年、国語科教諭として奉職。学年主任、課程主任、学科主任、女子部長等を歴任。令和4年度、男子部長に就任。

女子部長
川本 ゆり子

平成26年、英語科教諭として奉職。進路指導部担当、学科主任、国際教育推進委員会主任等を歴任。令和4年度、女子部長に就任。

川福基之 名誉校長 紹介

昭和39年、国語科教諭として奉職される。平成11年、第8代校長に就任以来、建学の精神を堅持しつつ男女部別制の教育、STクラスの設置、学習センター棟建設などの事業に取り組まれた。同15年、國學院大學理事に就任。平成21年、校長退任後は学事顧問として、同28年度より名誉校長として学園の発展に尽力されている。

母校の歴史をたどる 久我山80年のあゆみ

新入生の皆さん。ご入学おめでとうございます。今から80年前に産声を上げた本校は、創立以来変わらぬ建学の精神を掲げ、今日まで歴史を刻んできました。久我山での生活をスタートする皆さんに、本校の歩んできた道の概要をご紹介します。

終戦間近の創立

太平洋戦争末期、戦局も厳しさを増し、日に日に敗色が濃厚となった昭和19年(1944)4月、時の岩崎通信機社長・岩崎清一先生が、「たとえ国は敗れても戦後の復興は若者の力による以外にない。その担い手を何としても育成しなければならぬ」との信念から開



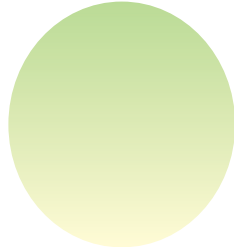
岩崎清一先生

校されたのが岩崎学園久我山中学校である。その教育理念は同20年3月、岩崎先生によって「学園三蔵」(忠君孝親、明朗剛健、研学練能)の三つの教えとして

苦難の船出

示された。

昭和23年、戦後の学制改革によって新制高等学校および中学校女子部が開設されたものの、伝統的な価値観に基づく本校の教育理念は必ずしも当時の風潮にそぐわず、学校経営は厳しく困難な道のりをたどることとなった。こうした中、第4代校長として陣頭指揮を執ったのが佐々木周二先生



佐柳 正三 理事長

外つ國々の長きを採りて
我が短きを補ふ世にも
校歌に歌われているのは、

子孫の道はここにあり

國學院大學 紹介

明治維新後間もなくのわが國の世情である。幕末に欧米諸國と結ばれた不平等条約を改正するため政府が進めた欧化政策の影響で、後に「鹿鳴館時代」（明治10〜20年代）と称される時世が到来。西洋文明の摂取を急ぐあまり、日本古来の伝統や精神を軽視する風潮が

折から自由民権運動の高まりを受けて、明治14年（1881）、政府は同23年を期して国会を開設することを決定した。参議・山田顕義、内務卿・松方正義ら有志は、西洋に由来する立憲政治を運用する上で、日本古来の歴史に表れている「國

その後、教学面での規模拡張が図られ、同23年、國史・國文・國法の研究・教

昭和27年、本校は國學院大學と合併を果たした。同じ教育の理想を掲げる同志の連帯である。同年9月、時の國學院大學理事長・学長の石川岩吉先生が本校

苦難と試練の時期を乗り越え、昭和34年に創立15周年を迎えた本校は、着々と施設の整備拡充を進める。同年の第1体育館竣工を手始めに、昭和38年に理科会館、同41年には現在の本館

同志の合併

である。先生なくして今日の久我山の隆盛はなかったであろう。



佐々木周三先生

試練乗り越え発展

武道場において、全教職員・生徒を前に、両学園の建学の精神の一致がこの度の合併という結果を生んだことを宣言され、ここに國學院大學久我山中学高等学校が誕生した。



昭和40年頃の校舎全景

第2期工事完成の頃の本館校舎と、その前にたつ旧校舎。理科会館の隣には旧柔道場が見える。現在第2体育館のある場所は、当時はテニスコートだった。

校舎が完成。生徒数も増加し、昭和39年には初めて2000名を越えた。クラブ活動においてはラグビー部、野球部、陸上競技部をはじめ、多くのクラブが各大会で華々しく活躍。母校の勇名を全国にとどろかせた。

理想の教育実現へ

昭和60年4月、中学校の生徒募集を再開し中高一貫教育が実現。同時に男子校の歴史の長かった本校で、日本独自の女子教育を目指して、高等学校女子部を新設。平成3年度からは中学に女子生徒が入学し、男女別学中高一貫教育の体制が整った。

学業面でも国立公立大学をはじめ、早稲田・慶応・上智といった有力私大への進路にも成果をあげている。

國學院大學 渋谷キャンパス



現在の本館校舎

平成20年には中学にS.Tクラス、同30年には中学女子にC.Cクラスを創設し、教育環境も充実。新たな時代に向けて、ますますの発展が期待されている。

勇気を持って 踏み出そう

男子部担当者紹介

男子部長

横山 聡

さあ、新しい生活が始まります。これから始まる時間の中で、何をしましょう。「自分の知らないもの」を知るには、同じ所に立ち止まっていたは叶いません。では、みなさんの「知」を広めるにはどうしたらよいか。それは、自らが動くことです。新しい領域に身を置くことです。旅にたとえればわかりやすいと思います。見ず知らずの土地に行くように様々な「知」を訪れる。豊かな「知を」求めて充実した学園生活を送りましょう。

高校

中期課程主任
第1学年主任

梶 善之

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。皆さんは今、感覚が研ぎ澄まされ、周囲のことを見て、聞いて、感じて、考えることのできる時期にあります。だからこそ、自分としっかりと向き合い、視野を広く持ち、そして自分に限界を設けずに、さまざまなことに挑戦していきましょう。応援しています。

中学

第1学年主任

山根 茂之

新入生のみなさん、入学おめでとう。これから始まる久我山での生活、どんな未来が待っているか、きつと楽しみにしていることだと思えます。大切なことは、頭の力・体の力・心の力の3つを、バランスよく鍛えていくことです。勉強に、部活動に、そして学校行事に、積極的に取り組んでいきましょう。

1組担任
岩田 憂介

2組担任
吉井 辰巳

1組担任
佐藤 伸彦

4組担任
坂井 健太

2組担任
世古口 貴秀

5組担任
川崎 貴之

3組担任
對比地 竜宏

6組担任
井上 俊之

3組担任
伊藤 彰悟

4組担任
長谷川 友

5組担任
近藤 秀幸

7組担任
清水 智裕

8組担任
片山 浩史

中期課程担当
佐藤 勝



前期課程担当
阿部 孝太

前期課程担当
鈴木 葉月

前期課程担当
徳升 裕人

前期課程担当
木村 俊一

中期課程担当
城戸 友行

中期課程担当
高良 武士

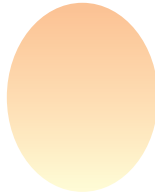
中期課程担当
竹内 伸光

学ぶことの喜びを 見つけましょう

女子部 担当者紹介

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。これからの学校生活に対して期待と不安が入り混じっている気持ちかもしれませんね。ぜひ様々なことに挑戦をして、経験を重ねていきましょう。そして、新たな師や友との出会いを大切にしてください。先生方は皆さんの学校生活を応援しています。

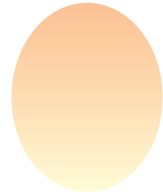
高校



中期課程主任
第1学年主任

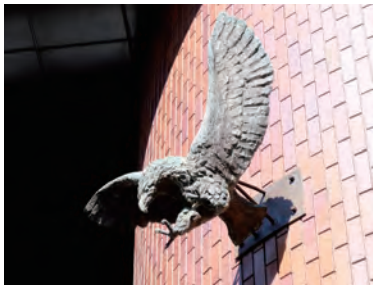
中村 友子

入学おめでとうございます。新しい一歩の始まりです。新しい出会い、新しい学び、新しい経験。それら一つひとつを積み重ね、自分を成長させる糧としてほしいと思います。中学高校時代は人の成長の中で、最も大切なときです。友だちと先輩たちと、ともに励まし励まされながら、伸び伸びと、そして生き生きとした学校生活を送っていきましょう。

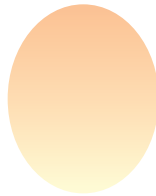


女子部長

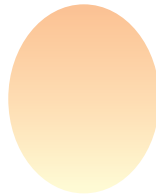
川本ゆり子



4組担任
横井 碧



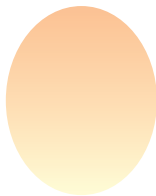
3組担任
金子 那美



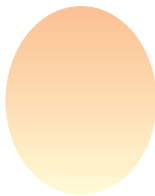
2組担任
林 七海



1組担任
小俣 裕子



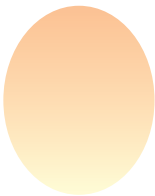
中期課程担当
小林 大介



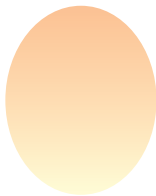
中期課程担当
加藤 由香



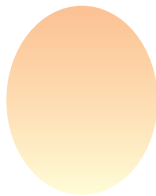
中学



3組担任
倉浪 章仁



2組担任
佐藤 真音



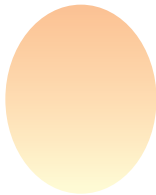
1組担任
積 麻衣子

新入生のみなさん、入学おめでとうございます。みなさんは地元を離れ、仲の良かった同級生とも離れ、ほとんど知り合いのいない新たな道を歩み始めました。「ドキドキ」でいっぱいだと思いますが、安心してください。先輩たちがいて、新たな同級生も先生方もいます！
今日のこの一日を、この一歩を大切に。

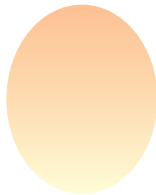


前期課程主任
第1学年主任

高橋 知尚



前期課程担当
七沢 信子



前期課程担当
海保 直見



人生とは
自分を見つけることではない
人生とは
自分を創ることである

バーナード・ショー

中学・高校

まなびの道案内

大切なスタート

冬の寒さを耐え抜いて花開いた桜のように、つらかった受験を乗り越え、晴れて久我山の門をくぐった諸君。いよいよこれから中学生としての日々が始まります。そのスタートを切るに当たって、ぜひ心にとめておいてほしいことがあります。それは、中学は主体的に学ぶ場であるということです。これまでも君達は学校

や塾で様々なことを勉強してきたことと思います。しかし今までと違うのは、単に先生の指示を受け、その通りにこなすだけでは不十分だということです。中学での学校生活はこれまでと大きく違います。通学時間が大幅にのび、学習する事柄が増え、レベルがずっと高くなります。試験の回数も多く、気を抜く暇がありません。部活動に参加する人は練習が想像以上にハー

ドで、勉強との両立に不安を感じる人がいるかもしれません。こうした変化に対応するため、君達は自ら考え、工夫することが求められているのです。

学習習慣の確立を

何よりも重要なのは規則正しい学習習慣の確立です。本校では多くの小テストが行われます。それ以外に様々な課題も提出しなければなりません。何と面倒なことだと思っても多いでしょう。しかし君達が高校卒業までに学ぶべき事柄が減ることはありません。ですから無理なく身につけるにはどうしたらよいかを考えましょう。それには特別な方法はありません。少しずつ計画的に取り組むことが、実は最も効果的な方法なのです。この1年で堅固な学習習慣を身につけて下さい。

テストの意味

なぜテストが頻繁に行われるのでしょうか。それは

何よりも大切な学習習慣

中学生

令和6年度入学生 中学校教育課程 (数字は週授業時間数)

学年・クラス	1 学年		2 学年		3 学年		
	男子・女子 ST	CC	男子・女子 ST	CC	男子・女子 ST	CC	
国語	国語	5	4	4	4	3	3
	作文・書写	1	1	1	1	1	1
	古典					2	2
社会	地理	4	4				
	歴史			4	4		
数学	公民学					4	3
	数学 I	5	5	6	5	3	3
理科	理科(物理・地学分野)	2	2	2	2	2	2
	理科(生物・化学分野)	2	2	2	2	2	2
保健	保健・体育(武道・ダンス)	3	3	3	3	3	3
芸術	音楽	1	1	1	1	2	2
	美術	1	1	2	2	1	1
英語	英語	5	4	6	5	2	2
	* 英語(TT)	1	1	1	1	1	1
英語	英語コミュニケーションI					3	2
	技術・家庭	2	2	* 2	* 2	1	1
Global Studies		2		2		2	
道徳	1	1	1	1	1	1	
特別活動	1	1	1	1	1	1	
総合的な学習	<2>	<2>	<2>	<2>	<2>	<2>	
合計週時間数	34	34	35	35	35	35	

*英語(TT)はネイティブ教員とのチームティーチングクラス
*中2技術・家庭は授業1時間、レポート1時間

学習リズムを作るためです。問題集を1冊渡され勉強するよう言われても、実行するのは難しいものです。それを「何日までに何ページ」と分割して勉強していけば、ずっと楽に目標を達成でき

るでしょう。小テストの目的はそこにあります。また中間・期末試験は授業で理解できなかった箇所を発見、復習し確実に習得するための機会です。それが定期試験の意味なのです。習慣が

身につくまでは実行するのがつらいものです。でも習慣化してしまえばさほど苦にはなりません。まずは毎日の予習・復習から始めて、生活リズムの中に学びの時間を組み込んで下さい。



男女校舎と理科会館

高校での学び

高校生の諸君がこれからしばしば耳にする大学受験は、中学・高校受験と何が違うのでしょうか？ 難易度はもちろんですが、最も異なるのは受験生の将来に対する影響です。大学は多くの場合、学部単位で受験します。どの学部に進むかによって、君達の将来が大きく変わるのです。では学部はどうやって選べばよいのでしょうか？ それは今

自主自立の精神を

高校生

学ぶべき科目をより深く掘り下げることから始まりです。本校はコース選択制をとり、1年生の間は全員が同じ科目を学習しますが、2年生から文系・理系に分かれ別個の内容を学びます。個々の分野の学習を意図的に深めることで、自分が本当に学びたいことが見えてくるでしょう。

単位制とは

中学と違い、高校は単位制をとります。これは各教科が独立した単位として数えられ、定められた教科の単位を修得することで卒業が認められるという制度で、単位が修得できない科目があると卒業に差し支えます。ですから、どの教科も気を抜くわけにはいきません。なお単位の数え方は、週1時間の授業を1年間受けて1単位と数えます。週3時

間の授業なら3単位になります。 **単位修得の方法** 本校では単位修得の基準を「年間授業日数の3分の2以上出席し、学年末の成績が100点法で40点以上であること。」と定めています。もし1年生の学年末成績が40点未満(いわゆる「赤点」)の科目があったらどうなるのでしょうか？ その場合は3月の修了式に指示される試験範囲を春休み中に勉強し、2年生の4月早々に行われる再試験を受けなければなりません。試験終了までは部活動への参加も制限されます。もしも再試験に不合格となれば、卒業に重大な影響があります。 **今から3年後。君達は成人年齢を迎えます。それを忘れず、高い意識を持って取り組んで下さい。**

令和6年度入学生 高等学校教育課程

	高校1年(高入生)	高校1年(内産生)	高校2年文系(高入生)	高校2年理系(高入生)	高校2年文系(内産生)	高校2年理系(内産生)	高校3年文系(高入生)	高校3年理系(高入生)	高校3年文系(内産生)	高校3年理系(内産生)		
	科 目 単位数	科 目 単位数	科 目 単位数	科 目 単位数	科 目 単位数	科 目 単位数	科 目 単位数	科 目 単位数	科 目 単位数	科 目 単位数		
国語	現代の国語	3	現代の国語	3	古典探究	4	古典探究	2	古典探究	3	古典探究	2
	言語文化	3	言語文化	3	論理国語	2	論理国語	2	論理国語	2	論理国語	2
			文学国語	2			文学国語	2			文学国語	2
地歴公民	歴史総合	2	歴史総合	2	日本史探究	3	日本史探究	3	日本史探究	5	日本史探究	5
	公共	2	公共	2	世界史探究	3	世界史探究	3	世界史探究	5	世界史探究	5
			地理総合	2	地理総合	2	地理総合	2	地理総合	2	政治経済	2
数学	数学I	4	数学I	3	数学II	4	数学II	5	数学II	4	数学II	4
	数学A	2	数学A	2	数学B	2	数学B	3	数学B	2	数学B	3
	化学基礎	2	化学基礎	2	地学基礎	2	物理基礎	4	地学基礎	3	物理基礎	3
理科	生物基礎	3*2	生物基礎	3*2	化学	4	化学	3	化学	3	生物	4
	生物	*1	生物	*1	生物	2	生物	2	生物	2	化学	4
										生物	4	化学
保健体育	体育	1	体育	1	体育	2	体育	2	体育	2	体育	2
	武道・ダンス	1	武道・ダンス	1	武道・ダンス	1	武道・ダンス	1	武道・ダンス	1	武道・ダンス	1
	保健	1	保健	1	保健	1	保健	1	保健	1	保健	1
芸術	音楽I		音楽I		音楽II	2	音楽II	2	音楽II	2	音楽II	2
	美術I	2	美術I	2	美術II	2	美術II	2	美術II	2	美術II	2
	書道I		書道I		書道II	2	書道II	2	書道II	2	書道II	2
英語	英語コミュニケーションI	5	英語コミュニケーションI	4	英語コミュニケーションII	4	英語コミュニケーションII	4	英語コミュニケーションII	4	英語コミュニケーションIII	4
	論理・表現I	2	論理・表現I	2	論理・表現II	2	論理・表現II	2	論理・表現II	2	論理・表現III	3
											論理・表現III	3
家庭	家庭基礎	2	家庭基礎	2	家庭総合	*2	家庭総合	*2	家庭総合	*2	家庭総合	*2
	家庭総合	2	家庭総合	2	家庭総合	*2	家庭総合	*2	家庭総合	*2	家庭総合	*2
	情報I	2	情報I	2								
情報	特別講座	[1]	特別講座	[1]	特別講座	[1]	特別講座	[1]	特別講座	[1]	特別講座	[1]
			Global Studies	(1)			Global Studies	(1)	Global Studies	(1)		
	L・H・R	1	L・H・R	1	L・H・R	1	L・H・R	1	L・H・R	1	L・H・R	1
総合	総合的な探究	2	総合的な探究	2	総合的な探究	2	総合的な探究	2	総合的な探究	2	総合的な探究	2
	男子合計単位数	40	男子合計単位数	38	男子合計単位数	39	男子合計単位数	39	男子合計単位数	38	男子合計単位数	38
	女子合計単位数	41	女子合計単位数	39-40	女子合計単位数	42	女子合計単位数	42	女子合計単位数	41-42	女子合計単位数	41-42

*1年次理科*印は2年次以降理系選択者 *武道は男子、ダンスは女子が履修 *家庭基礎は男子、家庭総合は女子が履修 *高2家庭総合*印は授業1時間、作品制作、レポート1時間 *特別講座は女子のみ履修 *Global StudiesはCCクラスのみ履修 ()は選択演習 *はいずれかを選択

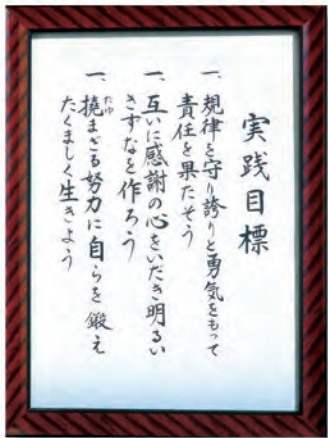
「主体的な学び」をめざして

新たに始まる本校での学校生活を充実したものとす
るには、いったい何が必要
なのでしょう？ それは、
各教科の学習活動にはじま
り、さまざまな学校行事や
生徒会活動・部活動といっ
た課外活動にいたるまで、
どれだけ自ら「主体的」な
取り組みをすることができ
るにかかっていると見え
ます。

一方、さまざまな人生経
験を積み、広く深い知見を
有した個性的な先生方がで
きることは、皆さんのそう
ましよう。

した「主体的な学び」を有
形無形のうちに全力でサ
ポートすることにほかなり
ません。
人は、「やらされてする」
ことから達成感も満足も得
ることはできません。逆に
「自らすすんでする」こと
に失敗はつきものですが、
そうした苦い経験も含めて
これからの長い人生行路を
進みゆくための確かな「生
きる力」を身につけること
に必ずやつながるはずで
す。

本校では、そのような個々
の「主体的な学び」を実現



各教室に掲げられている『実践目標』
日々の生活の鏡として、また、折にふれて
目映す鏡として、大切にしてください。

するために、三つの『実践
目標』を掲げ、縁あって生
活を共にすることになった
仲間たちと共有してくれる
ことをめざしています。

一、規律を守り誇りと勇気
をもって責任を果たせう

社会生活をその一員とし

て営むためには、最終的に
は既存の与えられたルール
ではなく、自ら培ったモラ
ルやマナーによって自分自
身を律するセルフコントロー
ル力がなにより大切です。
「責任」を伴う「規律」と
は、こうした自律的なもの
でなければ本物とはいえま
せん。

一、互いに感謝の心をいだき
明るいきずなを作ろう

また、社会とは自分以外
の他者と共同で生活するこ
とを意味し、それゆえ人は
決して一人では生きていけ

ない以上、考え方や価値観
が異なる相手であっても互
いに尊重し合うことが求め
られます。こうしたリスベ
クトし合う姿勢を支えてい
るのは「感謝」の心にはかな
りません。

一、たくまざる努力に自ら
を鍛えたくましく生きよう

自らの知的好奇心を満た
そうとする学習活動も、あ
る種の自己実現を目指して
の課外活動も、すべてが思
い描いたように運ぶとは限
りません。かえって失敗や
挫折の方が多くかもしれま
せん。真価が問われるそう
した場にあつても屈するこ
となく「努力」を重ねてい
きたいものです。

■保護者の皆様へ

ご家庭と学校とが一致協
力して、ご子女の「主体的
な学び」をサポートしてい

く日々が今日から始まりま
す。

「子ども」の言動は、その
まま「心の様」を映し出す
鏡となります。「親」とし
て、「先生」として、その鏡
を「つかずはなれず」見守
ることは至難の業ですが、
中学・高校時代は、ご子女

のその後のさらなる成長を
考えるとき、この「つかずは
なれず」の距離感を保つこ
とが、双方にとって不可欠
となりましょう。
保護者の皆様のご支援ご
協力を、よろしくお願いい
たします。

生徒指導部

〔注〕 一般… 國學院大學久我山中学校男子クラスおよび
内進生男子クラス

高入… 外部の中学からの入学者
S… 理科系 文… 文系
ST… STクラス CC… 文理系混合
優… 一般成績上位者クラス

《男子部》

学年 組	前期課程		中期課程		後期課程	
	中学1年	中学2年	中学3年	高校1年	高校2年	高校3年
1	一般	一般	一般	高入	理高入	理高入
2	一般	一般	一般	高入	理一般	理一般
3	一般	一般	一般	ST	理ST	理ST
4	ST	ST	ST	ST	文ST	文ST
5	ST	ST	ST	高入	文高入	文高入
6				優	文理優	文理優
7				一般	文一般	文一般
8				一般	文高入	文高入

《女子部》

学年 組	前期課程		中期課程		後期課程	
	中学1年	中学2年	中学3年	高校1年	高校2年	高校3年
1	CC	CC	CC	CC	文CC	文理CC
2	CC	CC	CC	CC	理CC	文ST
3	ST	ST	ST	ST	文ST	理ST
4				高入	理ST	文理高入
5					文理高入	

令和6年度 男子部・女子部クラス編成